

ここがいい! こながい



諫早市立小長井図書館

〒859-0165  
諫早市小長井町小川原浦825  
(小長井文化ホール内)  
0957-34-2972  
開室時間 午前10時～午後6時

# 小長井図書館だより

2020年 11月号 No.243



## 芸術の秋



### 郷土の詩人 木下和郎展

令和2年11月29日(日)まで

小長井出身の詩人 木下和郎の詩3篇(「昭和十九年 秋」「石切丁場」「六地藏さん」)の紹介と、詩集『木下和郎詩集』『草の雷』『嵯峨島抄』『定本木下和郎全詩集』『詩人木下和郎素描』(島田勇/著)を展示しています。

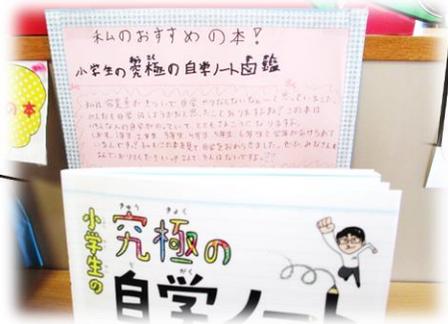
諫早の芥川賞作家、野呂邦暢が述べているように、小長井の風土や人々をよく歌いあげています。この機会に是非、これらの詩に触れてみてはいかがでしょうか。



図書館  
あちこち

小学4年生の女の子が、自らすすんで「小学生の究極の自学ノート図鑑」の紹介を書いてくれました!

自学に役立っ  
たらいいです  
ね



## ★ 秋・星空さんぽ おはなし会 ★

令和2年 11月18日(水ようび)

午後7時～午後7時30分

小長井文化ホール1階研修室

このあと、文化ホール前広場にて星空観察  
申し込みは、小長井公民館(34-2201)へ

秋の星座神話  
「カシオペヤ王妃」の話を  
きいて、  
きらきら かがやく星を  
見よう!

マスクを  
しようね!



図書館  
あちこち

### アマビエ登場!!

コロナが、はやく終息しま  
すように...



### あら!?! ふしぎな飾り!!

正面から見ると「線」に見え、横から見ると...  
黄金の飾り!

どこにあるかわかる  
でしょうか?



### 11月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

: 休館日

: おはなし会

: 星ぞらさんぽおはなし会

### 11月のおはなし会

11月14日(土)午後2時から

おはなし会は、絵本を楽しみ、遊びを楽しむのんびりところ豊かな時間です。たくさんのご参加をお待ちしています。(どなたでも参加できます)



## ★新しく入った本★

### <一般書>



#### 『イノセンス』

小林 由香:著

中学時代、不良に絡まれた星吾は、彼を助けようとして刺された青年を見捨てて逃げてしまう。青年は死亡し、星吾は世間から集中砲火を浴びた。大学入学後、星吾の周囲で不審な出来事が…。

#### 『Another 2001』

綾辻 行人:著

1998年度の<災厄>から3年。夜見北中三年三組の一員となる生徒たちの中には、3年前の夏、見崎鳴と出会った少年・想の姿があった。今年は特別な<対策>を講じる想たちだったが…。

#### 『隣はシリアルキラー』

中山 七里:著

深夜になると隣室から何かを切断しているような不気味な物音が聞こえてくる。同じ頃、近隣で死体の一部が発見された。神足は隣人が犯人ではという疑いを持ち…。ホラーミステリ。

#### 『自転しながら公転する』 山本 文緒:著

東京で働いていた32歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。結婚、仕事、親の介護、ぐるぐる思い惑いながら幸せを求める姿を描く。

ほか…

『わたしの山旅』 仲川 希良/著

『脳イキキ!手あそび指あそび』

『免疫力UPのすごい納豆レシピ』



### <児童書>



#### 『ボートやのくまさん』

フィービ・ウォージントン/さく・え

ボートやのくまさんは、1そうのボートの家<sup>いえ</sup>に、いもうとのスージーと馬<sup>うま</sup>のデージーとすんでいます。なわでデージーとボートをつないだら、しごとの始まりです。ボートでさまざまなものはこび<sup>かね</sup>、お金をもらいます…。

#### 『とどけ、サルハシ!』

鞆原 かも/作・石川 えりこ/絵

凶工<sup>ずこう</sup>の時間<sup>じかん</sup>、友達<sup>ともだち</sup>の絵<sup>え</sup>をうっかりよごしてしまい、あやまろうと思いつつも言葉<sup>ことば</sup>にできずにいたりよう。先生<sup>せんせい</sup>にとがめられ、頭<sup>あたま</sup>がカーツ<sup>こつ</sup>となって校庭<sup>てい</sup>へとびだした。そこにテナガザル<sup>こころ</sup>があらわれ、心<sup>こころ</sup>をつなぐ指輪<sup>ゆびわ</sup>「サルハシ」<sup>ハシ</sup>をかしてくれて…。

#### 『セラピードッグのハナとわたし』

堀 直子/作・佐竹 美保/絵

小学校<sup>しょうがっこう</sup>4年生<sup>ねんせい</sup>の花菜<sup>かな</sup>は、おばあちゃん<sup>おばあちゃん</sup>がいる老人ホーム<sup>ろうじん</sup>でセラピードッグ<sup>セラピー</sup>の存在<sup>そんざい</sup>を知る。ある日<sup>ひ</sup>、泣<sup>な</sup>いているみたいなきびしい目<sup>め</sup>をした犬<sup>いぬ</sup>「見習<sup>みなら</sup>いのハナちゃん」<sup>ハナちゃん</sup>がやってきた。花菜<sup>かな</sup>は、ハナちゃん<sup>かな</sup>の悲しい生<sup>お</sup>い立ち<sup>たち</sup>を知り…。

### <ティーンズ>



#### 『キニ子の日記 上』

間部 香代/作

青春<sup>せいしゅん</sup>ってなんだろう? 信号<sup>しんごう</sup>の電気代<sup>でんきだい</sup>は誰<sup>たれ</sup>が払<sup>はら</sup>っているの? 録音<sup>ろくおん</sup>した自分の声<sup>こゑ</sup>は、どうして変<sup>か</sup>なの? 満塁<sup>まんるい</sup>小学校<sup>しょうがっこう</sup>6年F組<sup>ねんFぐみ</sup>、キニ山<sup>きにやま</sup>キニ子<sup>きにこ</sup>が「気<sup>き</sup>になること」<sup>なること</sup>を記<sup>し</sup>した日記<sup>にっぴ</sup>。須原<sup>すはら</sup>C介<sup>すけ</sup>先生のコメント<sup>コメント</sup>付<sup>つ</sup>。